

委託実情で意見交換

水道O&M研究会 太田市渡良瀬浄水場を見学

水道O&M研究会（藤田賢二会長）は11月29日、会

員向けに群馬県太田市の渡良瀬浄水場で施設見学会を開催し、民間委託の実情で意見交換した。

太田市水道局の浄水場維持管理業務委託は改正水道法で謳われている第三者委託の制度化を念頭に置いた水道事業の業務委託としてはわが国初の例。平成14年4月1日から明電舎が受託している。現在は、平成17年の合併により新田配水場、敷塚配水場の監視業務を加え、渡良瀬浄水場、利根浄水場、南前小屋浄水場の業務委託を行っている。

見学会では、初めに太田市水道局水づくり課の木暮昌典課長補佐が同市水道事業の歴史、浄水場維持管理委託の概要を説明。「専門技術者による安全で安定した飲料水の供給」、「人件費や直接経費・維持管理費の縮減」を目的として業務委託を行ったことを語ったほか、テレメータなどの回線関係まで委託内容を拡大する計画なども紹介した。

熱心にメモをとる姿も



多くの関係者が参加



熱心にメモをとる姿も

見学会終了後の質疑応答では、危機管理の取り組みや緊急時の対応、問題発生時の責任関係など多数質問があり、関心の高さが窺えた。最後に木暮課長補佐は「水道事業を経営する意識を」と同研究会会員にメッセージを送った。